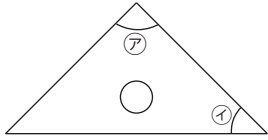




3 角の大きさ (A)

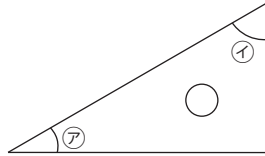
次の角度ア、イを求めましょう。(1) ~ (4) は三角定規です。

(1)



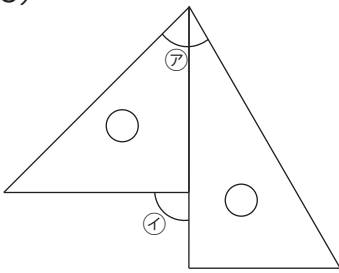
$$\begin{array}{l} \text{ア} \left( 90^\circ \right) \\ \text{イ} \left( 45^\circ \right) \end{array}$$

(2)



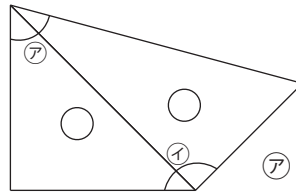
$$\begin{array}{l} \text{ア} \left( 30^\circ \right) \\ \text{イ} \left( 60^\circ \right) \end{array}$$

(3)



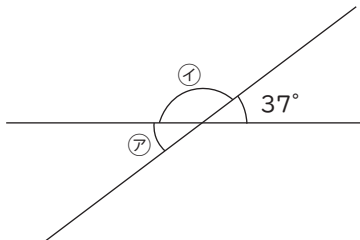
$$\begin{array}{l} \text{ア} \left( 75^\circ \right) \\ \text{イ} \left( 90^\circ \right) \end{array}$$

(4)



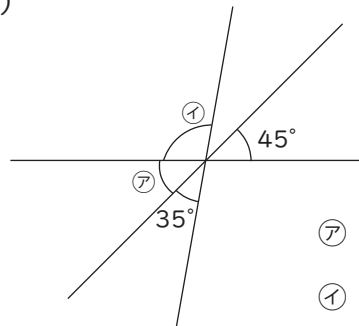
$$\begin{array}{l} \text{ア} \left( 75^\circ \right) \\ \text{イ} \left( 135^\circ \right) \end{array}$$

(5)



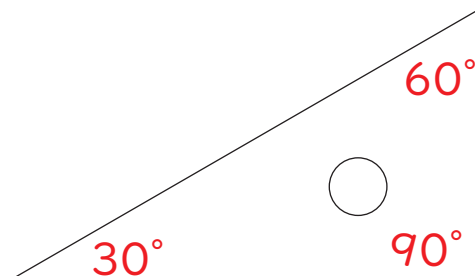
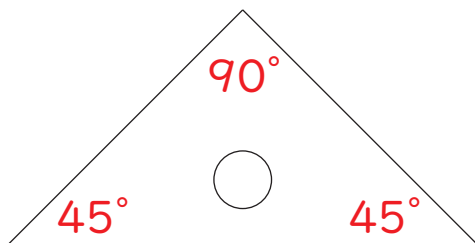
$$\begin{array}{l} \text{ア} \left( 37^\circ \right) \\ \text{イ} \left( 143^\circ \right) \end{array}$$

(6)



$$\begin{array}{l} \text{ア} \left( 45^\circ \right) \\ \text{イ} \left( 100^\circ \right) \end{array}$$

三角定規のそれぞれの角の大きさはこのようになっています。





## 3 角の大きさ (A)

2 次の問題に答えましょう。

(1) 時計の長い針は、21分で何度動きますか。

時計の針の1周は  $360^\circ$  なので、  
長い針が1分で何度動くかを調べます。  
 $360 \div 60 = 6$  なので、長い針は1分で  $6^\circ$  動きます。  
よって21分で動く角度は  
 $6 \times 21 = 126$   
よって答えは  $126^\circ$

( 126° )

(2) 時計の長い針が  $204^\circ$  動くには、何分かかりますか。

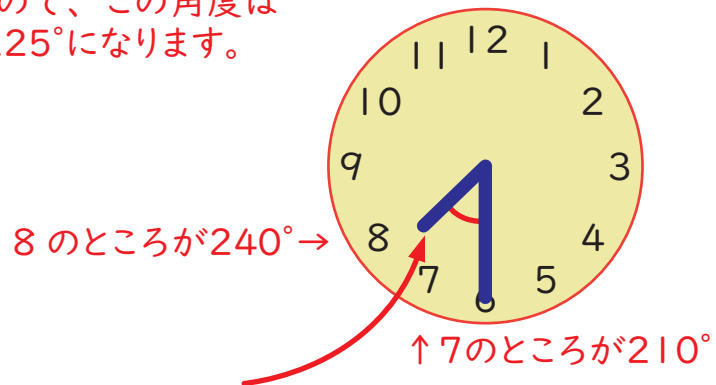
長い針が1分で動く角度は  $6^\circ$  なので、  
 $204^\circ$  動くときにかかる時間は  
 $204 \div 6 = 34$   
よって、 $204^\circ$  動くのにかかる時間は 34分

( 34分 )

(3) 時計が7時30分を示しているとき、長い針と短い針がつくる角で小さい方の角度を求めましょう。

時計が7時30分を示しているとき、長い針は時計の  
6のところを示しており、角度は  $180^\circ$  です。  
短い針は時計の7と8の間にあるので、この角度は  
7の  $210^\circ$ 、8の  $240^\circ$  の中間の  $225^\circ$  になります。  
よって長い針と短い針がつくる角は  
 $225 - 180 = 45$  だとわかります。

( 15° )



その間なので  $225^\circ$  のところにある